
MooN SkY

Three PEACE

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MOON SKY

【NZード】

N6300E

【作者名】

Three PEACE

【あらすじ】

この小説は、本当に考えました！…自分なりにいいできばいだと
思います。

(前書き)

最後までよろしください

＼＼＼＼

携帯の音で田が覚めた。
携帯を見た。

2×××年

5月15日 晴れ

海&空 お付き記念田ーーーすとじすとワワワ。

オレはずっと空の事が大好きだったよ、『めんな守れなくて、『めんな助けてやれなくて、『めんな頼りなくて、『めんな弱くて……

7年前……

「赤月 海、お前、退学も考えとけよ」

「……」

廊下に自分の上靴の音が響く、誰もいない廊下をぼくはひとりで歩いていた、なにやってんだる、退学かあ……
ぼくは空を見たとても広い空をずっと見た。

屋上で寝よ、

屋上で見る空はとてもキレイだった、雲のない空にうすく月が見える、その月はかくれることなく日がくれるまで、ずっとぼくを見ててくれる。空がかがやいて月を助けてくれる、夜になると月がかがやいて空を助けてくれる、月も空もぼくを見てしてくれる、そん

な空と月が大好きだ……

「退学かあ……くそ！」

ぼくは、初めてケンカをした初めて人を殴った、でも後悔はしないどんなに小さい命でもぼくは、その命を守ったのだから。それで退学でも別にいい……

「暴力やうづー！」

女の声が聞こえた、

「お前、よく勝てたなあ、あの3人組に。学校で一番強いのに

「なんやーいきなり出でてきて」

「あのや、何を守りよつたん？」

「……何も守ってないー！ぼくにかかるな！」

そのままぼくは、その場から逃げた。

ぼくは誰もいない廊下を走った、ぼくはこけたそのまま何分か誰もいない廊下で寝た、

氣づけばもう夜だった、なぜかとなりに女の子が寝ていた。
ぼくは、屋上に行つた。

月がかがやいていた、とてもキレイだずっとぼくを見ていてくれる。
それだけで良かつた、それだけで安心出来た。

「赤月 海！！」

ぼくは振り向いた、

「何やつとるん

「また、お前かよ、」

振り向くと夕方会つてさつき隣で寝ていた女の子がいた

「なにそれ？」

「なんで、オレにつきまといつ、」

「許せないからかなあ～、あんたあんなひつぽけな鳥守るためにケンカしたんでしょう、」

「…………つひ、ちげえよー！」

「まあどうでもいいけど、私には関係ないから」

それを言つてその女の子はどつかに行つた。

次の朝……

先生から言われた、一週間の停学処分。

ぼくは嬉しかった。

先生から言われた、

「女の子がお前を助けた」

ぼくはそいつの居場所を聞き出してそいつのところにむかった。

あの女の子だった……

ぼくはめちゃくちゃ感謝しているのに強がって、

「よけいなことすんな、ばーか」

と言つてしまつた。

彼女は、何も言わなかつた。

一週間後、学校に行くとみんなから……イジメをうけた、上靴を隠されたり、教科書を破られたり、トイレに閉じ込められたり、ぼくはそれでもたえた……イジメに負けたくなかつた。

すると女の子がぼくのほうに来て言つた。あの時の女の子だった、

「行くぞ、屋上、」

屋上で、女の子が言つた

「あたしが、あんたを守つてやるよ、あんたはデッカイ海なら、あたしはそれ以上にデッカイ空だ、だからあたしが守つてあげる、」

「…………っはー意味わかんねえ。…………でも、頼む。」

ぼくの仲間になつてくれてありがとう。

次の日イジメられてるぼくを助けてくれた。毎日助けてくれた。し

だいにイジメがなくなつた、すると空が

「あんたは、キモいからかっこよくしてあげる。」

つと言われた。

その日理容院に行って、髪を切り、ピアスをつけて、靴を変えた。

次の日……

学校で、みんなオレを見ていた、そこに空が来て、みんなあんたの事かつこいって言つてるよ、と言われた。

嬉しかった。一週間がたつてぼくは隣の組の富木海里と会つた女の子に告白された、ぼくは空に相談をした、空は

「自分の好きにしたら、」

ぼくはムカついた、ぼくは止めて欲しかつた、ぼくは空が好きだつた。

ぼくはやけくそになり富木と付き合つことにした、とてもこゝ子だつた、空の事を忘れるぐらに海里の事を好きになつた。

付を合つて半年がすぎるとき、オレはある事に気がついた。

……海里はもう、オレの事好きじやなかつた。

海里がオレに言つてきた

「…別れたい」

オレはすぐわかつたと言つた、オレは泣いた、オレは本氣であいつの事が好きだつたから、そこに空がやつて来て言つた

「何やってんだよ、ばーか

「泣くな、あにつじやなくともこいちゃん、あにつじやなくとも…

…あたしでいいじゃん……」

オレは、まさか思いこんな事を言ってしまった、

「ばーが、こんな時に可愛くなつたつておかーよ、オレはこいつでも
可愛くなことやだ、お前みたいに男みたいなのは、お断り（笑）（
笑）」

空が言つた、

「海！大好きついがあんたを守つてやる」

「わかつたよ」

「携帯かして、今日何日だつた」

「5月15日だけ、何やつてんだよ」

「内緒～～～」

そしてオレは空と付き合はじめた。

楽しい毎日だった、映画を見に行つたりもした
付き合つて、一年がすぎてオレは、働きはじめた。

高校を卒業してオレは車の整備士になつた、給料はなかなか良かつ
た、

オレは、空と一緒に暮らしている、それから何年かたつてオレと空
は結婚する事になつた。

そして空のお腹の中にはオレの子供がいる、オレは空も生まれてくる子供も守る決意は出来ていた、3ヶ月がたつてオレは空に婚姻届をわたした、

「オレと結婚してくれ！」

空は、

「はい」

オレは嬉しかった、

でも大変な事がおきた、空が…………いなくなつた。

空がいなくなつた、オレの前から姿をけした。

オレは探し歩いた、オレは走りまくつた、でも見つからなかつた、毎日、毎日、探したが見つからなかつた5ヶ月がたつたぐらいに一本の電話がはいつた、

「すぐ、病院に来てください」

オレは、病院にむかつた、病院につくと先生に言われた、

「田中　円さん亡くなりました」

すると、子供を渡された、空の子供だつたとても元気が良かつた、看護婦さんに手紙をわたされた。

海へ

ごめんね、

ごめん勝手な事して、あたし病院で子供を生むと死ぬって言われた

の、だから子供を生むのをあきらめなさいって言われた、あたし泣いた、泣きまくつちやつた、いやだつた、悲しかつた、悔しかつた。だけど子供元気なのに、あたしのせいで死なせたくないって思ったの、だからあたし子供を生むつてきめた、怒つてるよね、ごめんね、どうしても海には言えなかつた、言いたくなかつた、ごめん、元氣で育ててよ任せたよ！……

あと、あたし本当の名前、田中 月だから、今まで黙つてごめんね、あたし海の空になれたかな？？？あたしはずつと海のデッカイ空だから。

この手紙と一緒に婚姻届もはいつていた、もつだせない婚姻届がはいつていた。

空、子供の名前な空にしたよ、空の子供、オレのデッカイ空になつてくれそつだから。

「パパ～！～！」

オレのたから物は、

月、空、

オレは、

月、空、が大好き

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6300e/>

MooN SKY

2011年2月4日03時25分発行